



がんばり画

【今季の表紙】七夕 作画：がんばり

038press

お み や

地域密着の情報共有フリーペーパー

【おみやプレス】
創刊号 vol. 01

今季の特集

商店街なるほどツアー

宮町の元気な人やお店を紹介

2011年7月1日 お！宮町地域情報編集局 発行

宮町の元気な人やお店を紹介	「商店街なるほどツアー」	2
宮町の歴史 ②	仙台東照宮遷座について	4
宮町今昔 ②	浄圓房とお宮町グラフィティ	5
生活情報	ストアマップ	6
地域のボランティア募集	五団体の紹介	8
学校行事予定表	編集後記	8



【編集】 お！宮町地域情報編集局
TEL: 022-225-7211(代) E-mail: ohmiyamachi@gmail.com
〒980-8701
仙台市青葉区役所 まちづくり推進課内

お！宮町地域情報編集局ホームページ
[2011年公開予定！]
宮町商店街ホームページ
[http://ohmiyamachi.com/]

お宮町は商人の町であり 職人の町でもある

身近な商店街を巡る旅—今回038プレス編集局で企画したのが「お宮町なるほどツアー」です。長年この地域に住んでいても、店主の思いやこだわりがにふれる機会はそうめつたにあるものではありません。単に買い物をするための商店街、というだけでなく、商店街の方々と触れ合いやコミュニケーションを通じて、地元を目を向けてもらうきっかけにできないだろうか、というのがこのツアーの目的とするとことです。今回は初めての企画ということもあり、まずは編集部スタッフ5名が中心となり、ツアーを実施しました。



↑ツアーに参加したお宮町編集部スタッフ5名

昔ながらの味噌・醤油の製法を頑固に守る

阿部幸商店

宮城県出身の大横綱の名に由来するという、阿部幸商店の仙台味噌「谷風」。元治元年（1864）の創業以来続く伝統は、現在6代目となる阿部幸悦さんによって守られています。

高松にある戦後建てられた醸造蔵には、製造から200年以上経ち、今は作る人がいない木製の大桶がずらりと並んでいます。「ホーローの桶では洗うたび落ちてしまう」という発酵菌がこの木桶に住み着いており、他の味噌との風味の差になるのです。味噌は秋に収穫した原料を冬に仕込みます。さらに暑くなる前に五感で判断しなが

ら、味噌を別の桶に移す「桶替え」を行いながら発酵調整し、独自の風味を生み出す寒仕込み天然醸造味噌が阿部幸商店の売りです。

仕込みから出荷まで時間がかかるため、昔ながらの味噌屋は減っている、と阿部社長は言います。しかし阿部幸商店では、先代の教えである「夏の土用を2度通す」という1年半以上の醸造期間をかけながら手間隙をかけることを頑固に守っています。

近年は消費者の味の好みも変わったため、「米の割合を多くし、甘くしている」といいます。しかし、品質を保つため年間生産量は150tと決め、先代達が一番いいという製法を頑固に守っており、谷風へのこだわりが変わることはありません。長い時の中で醸造された優しい味わいと豊かな大豆の香りは、息となる7代目へと受け継がれようとしています。（菅野 成寛）



青葉区高松の醸造蔵の内部



阿部幸商店の味噌、醤油を5% OFF

☎ 022-222-5016
住所 仙台市青葉区宮町2丁目1-47
営業 9時～18時30分
定休 毎週日曜日、祝日 P有り



お茶とお宮町を結ぶ「絆」 ふじきや園

ことぶき園の店舗は今回の震災により修復中で、裏手の仮店舗で営業しています。仮店舗では、商品の陳列もままならない状況です。そこに、さまんさんより提案があり、ことぶき園のお茶を味楽店舗内でも販売しているとのこと。宮町商店街の絆の強さに感動です。

店主の中川さんのこだわりは、静岡産の茶葉より厳選していることです。静岡は産出量も日本一で、茶葉の選択幅もあり、作柄にも影響を受けにくいこと。店の「顔」としての「味」を継続的に保持できると言います。長年にわたりお客様に変わらぬ味を提供することが、信頼を得る原点です。一方、仕入れ時期（4月～5月中旬）になると茶葉問屋から多くの新茶のサンプルが届き、仕入れを決めるための試飲が大変だそうです。

最近はお茶の健康効用も再認識されてきています。カテキンの摂取などを通じ、健康保持の点からも日本茶を飲む機会を是非増やして欲しい、と言います。また、今後は有機栽培の茶葉の販売に力を入れていきたいとのことでした。（永田 良治）



左：雲竜（煎茶）100g 1,500円（税込）
右：貴（煎茶）100g 2,100円（税込）



富士誉（ふじほまれ）100g 1,050円（税込）を1,000円にサービス

☎ 022-222-0370
住所 仙台市青葉区宮町3丁目6-7
営業 7時30分～19時30分
定休 年中無休 P無し



←づんだ餅5ヶ入りパック 650円(税込)



→ お宮町せんべい10枚入り 300円(税込)

「宮町おせんべい」を焼く頑固一徹 味楽

宮町商店街名物「お宮町せんべい」は、町内の様々な店で販売されており、商人の宮町に寄せる愛着と絆の深さを物語っています。その「お宮町せんべい」をはじめ、仙台味噌や紫蘇など風味豊かなせんべい、季節の刻印をほどこしたカステラせんべいの製造元で、私たち舌と目を楽しませてくれる店、味楽にお邪魔しました。

宮町3丁目バス停角から東に徒歩1分。丁度、奥様の戸田信子さんが接客中でした。奥様がせんべいを箱に詰める間、お客様にインタビュ。「ここのおせんべいは甘くて昔からの味で私は好きです。うちの子どもは牛乳で、私はコーヒーでおせんべいを食べています。値段が変わらないのもうれしいですね」と大の味楽ファンでした。

そこにご主人の戸田泰晴さん登場。中肉中背ながら、がっしりとした骨格と平そでの白衣から突き出た丸太のように太くてたくましい腕が職人としての誇りを感じさせます。

戸田さんは、関東や関西で10年間腕を磨きました。ちな

原料にこだわり、味を守るづんだ餅本舗 エンドー餅店

づんだ色の店構えが印象的な、づんだ餅本舗エンドー餅店。まず気になったのが店内に掲げられた数々の賞状です。昭和23年創業（昭和27年宮町に移転）以来、技の研鑽に励み、全国菓子大博覧会にて総長賞など多数受賞、平成20年に「極みづんだ餅」で橘花栄光章を受賞されました。所狭しと掲げられたお客様の賞状は圧巻です。

早速づんだ餅を頂いたところ、づんだの風味に加えて、甘過ぎないしつかりとした甘さの餡と、柔らかい餅が渾然となった絶妙な食感、なんとも一言では語れない奥深い美味しさです。さすがにこの地域で長年にわたって暖簾を守っているお店です。

この味を支えるのが、職人さんの技と、清流日本一を謳う北海道札内川で育んだ「大袖の舞大豆」と、北上川の清流が育む米どころ宮城は石巻の「みやこがね」で、これ

みに、当時東北地方には甘いせんべいを焼く職人がいなかったとか。昭和43年の開店以来1日約2、000枚のせんべいを焼き続けています。鉄製の重い焼き型にせんべい生地を流し込み火にかけ、焼き型を返して両面を焼き上げる動作を繰り返すのですから、腕が丸太になるわけですね。

現在販売しているおせんべいは15種類。それぞれの素材の風味を生かすため、生地の濃度や焼く時間を変えるなどこだわりを持った仕事をしています。また初夏には鮎や筏の刻印を押すなど季節感を出しています。

最後に、宮町の商人として商店街の人のつなかりを大事にしたいと話してくださいました。（加藤久枝）



鉄製の焼き型

 お宮町せんべい(2枚入)をサービス

☎ 022-223-0648
住所 仙台市青葉区宮町3丁目9-36
営業 9時～19時
定休 毎週日曜日、祭日 P有り

らなければこの味は作れないとの事。

最近メディアで紹介されることが多く、全国から注文が殺到しているそうですが、お話をうかがっている間も次から次とお客様が絶えません。やはり、地域に根ざしたお店だと確信したのであります。

今回づんだ餅を中心にお話をうかがいましたが、お客様がづんだ餅と一緒に購入していた大福やだんご、ご飯類も大いに気になる

ところ。最後に、今回お話をうかがった細谷さんの情熱的なお話と細かい気遣い、遠藤さんの職人気質

も好印象でした。（佐藤 正則）



店内での取材の様子

 づんだ餅 650円の所 600円(税込)にサービス

☎ 022-223-9512
住所 仙台市青葉区宮町4丁目7-26
営業 7時30分～18時30分
定休 毎週木曜日 P無し

「売る」という機能だけを見てしまいがちですが、今回のツアーで改めてよく見えてきたことが、「材料や仕入れる商品を選べる」「こだわりを持って商品をつくる」ことも店の魅力を作っていくうえで重要な要素である、ということ。ここで紹介した4店は長年にわたり暖簾を守り続けていますが、その裏側には「つくる」「えらぶ」ことに頑固なまでのこだわりを持っているのです。まさに宮町は商人の町でもあり、職人の町でもあると言えます。

編集部ではこのような企画を年に何度か実施をしていく予定です。ぜひ参加してみ、宮町をより楽しみませんか？

ツアー参加者募集

第2回お宮町なるほどツアーを実施します。宮町界隈のお店や歴史に触れる半日ツアーです。

日時 平成23年8月20日(土)
14時～17時
参加費 1,000円(おみやげ付き)
定員 6名

お申し込み 仙台市青葉区まちづくり推進課(022-225-7211)までお申し込みください。なお、定員になり次第、締め切らせていただきます。

特別企画!

 が付いているお店で「038pressを見た」と伝えてくださった方へ特典があります。(7月で終了させていただきます、なお店頭で購入してくださった方が対象です)

仙台東照宮遷座について

仙台藩二代藩伊達忠宗（一八世義山）は、徳川家康を祀る宮社を建てたいと幕府に願ひ出て許されました。場所は城北の良方角に位置する玉手崎—この地は天正19（1591）年に家康が仙台下向の時に休息をしたという由緒深い天神社（現在の榎ヶ岡天満宮）があったところ—を挙げています。

仙台からの発願を受けた江戸では、承応3（1654）年正月17日東叡山寛永寺最教院で、仙台東照宮におさめるご神体の開眼供養法事が行われます。

ご本地堂に安置されるご神体とは薬師・日光・月光の如来、十二神将、内陣楼門の隨身などとともに、京の大仏師左京法橘幸和の彫刻で、絵所了琢が描いた東照権現の画像と同じの束帯像であったといえます。正月17日午の刻（昼12時）からの開眼式は毘沙門堂御門跡公海が導師



神君 徳川家康



勸請者伊達忠宗 2代藩主

となつて行われました。

藩主忠宗の名代として美助丸（後の4代藩主綱村）、伊達兵部宗勝、茂庭大隅延元、大條兵庫宗頼らが出席しています。当然、日光御門跡にも使者が遣わされ、開眼成就の祝詞が述べられました。

翌日から神輿の仙台への下向準備が行われます。仙台からは藩主名代として石川大和守宗弘がご神体迎えのために上府しています。

3月6日辰上刻（午前7時）神輿は江戸を出発です。この日は越谷で休み粕壁泊り、7日は中田で休み小山泊り、8日は宇都宮で休み喜連川泊り、9日は芦野で休み白河泊り、10日は須賀川で休み郡山泊り、11日は二本松で休み福島で泊まる。6日目の12日藤田で休憩しいよいよ仙台領に入ります。越河には黒木長門守宗恒、斎川では片倉小

十郎景長が白石から駆け付け、白石城内に神輿を迎え、最教院以下衆僧を城中でもてなします。翌13日晴天のうちに岩沼で休息し、中田に来ると田村右京、伊達式部、伊達弾正など伊達家歴々の人々が出迎えに出ています。

そして、城下入りです。白木綿姿のご神体を収めた駕輿担ぎ手15人、最教院権僧正法印晃海、ほか僧侶18人、親衛組とする岡本惣左衛門高光ほか小姓などを行列の中心として、その後を鉄砲組、弓組、槍組、徒歩組が守護しています。太立目傳右衛門尉重信、遊佐九郎右衛門尉景成、宮野仁右衛門尉直重、石川大和守宗弘とその従者5人がそれぞれ騎馬で加わっていました。もちろん万一に備え医師の佐々木甫庵も随行し、百人を超える厳肅な行列は江戸から仙台まで同じ体勢でした。城下町端で自ら出迎えに出た

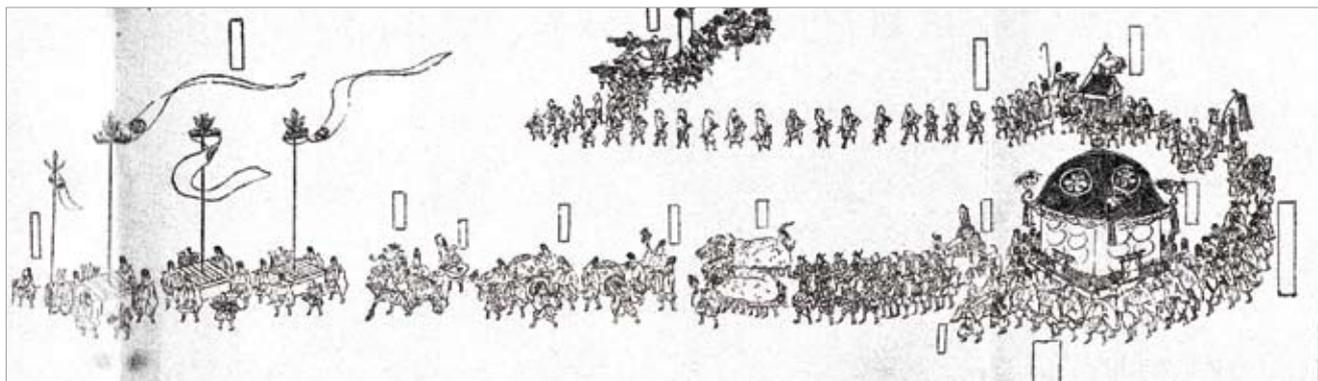
藩主は、すぐに引き返して宮の石鳥居の前で神輿の到着を待ち受けます。

昼2時ごろ（未刻）でした。神輿は仮殿の壇上に安置され、16日の遷座、ご遷宮まで香花灯明、お膳を献じ、衆僧が勤行してあります。最教院僧正の宿泊所は別当仙岳院です。原田甲斐がすべての接待の指揮に当たりました。

雨の中、夕方6時ごろ（西刻）から内外陣は正装の僧侶により満たされ、ご神体は消灯されたなか仮殿から本社に遷されました。衣冠着用で拜殿に参列した藩主は内陣に進み、太刀を献じて拝礼、供え物の儀があつて神酒をいただき神馬が庭にひかれます。これでこの日の行事は終わります。

17、18の両日は購天のうちに正遷宮の法事です。束帯姿の藩主、田村右京、伊達式部は布衣姿、近親の名代、その他一族家臣が居並びます。まことに華麗ながら厳肅な法事、遷座式であったことでしょう。19日法楽の能番組、これは士民も見物できたといえます。20日には城中で仙台に従った僧侶たちに能、狂言、酒希の供応があつて、遷座に関わる行事が終わりました。

今から250年前のことでした。
(伊勢民夫)



猿田彦令に続く神輿渡御化政時代以降とおもわれる（仙台中行事絵巻より）



【浄圓房さんとは】

延寿院境内の浄圓堂というお堂におられる「浄圓房大権現」は、一人の行者をおまつりしたものである。

浄圓房さんは東照宮の別当にいた僧侶で、羽黒の行者となり、韋駄天のごとき走力を得、麦飯を釜にかけてそれが炊き上がらないうちに出羽の羽黒山へ往復したりしたという。師が臨終に好物の最上の豆腐を食べたいといつたので、即座に最上まで行って豆腐を持ってきて喜ばせたと伝えられる。

お堂には、草鞋がたくさん奉納してある。



ねーねー！ 浄圓房さん、聞いていいですか？

最近学校の社会の勉強でお宮町の昔からの商店街を写し取った様な手拭いが配られてそれを教材にして勉強をしたんだけど、そこに描いてあったお宮町や東照宮、そして七夕様やお祭りの事をもう少し教えてくれますか？



はいはい、承知した。

そもそもお宮町と言うのはね、この通りの北に東照宮と言う社があるのを知っているかな。東照宮と言うのは徳川家康公をおまつりしている神社でな、そのお宮の門前に出来た町だから、お宮町と言うんだよ。伊達様の藩政時代に当時の幕府に忠誠を誓うと言う意味で仙台の当時の町割りの上の裏鬼門と言う元々は天満宮があった場所におかれたんじゃないかな。全国にも100以上もの東照宮があるんだが、そのなかでも江戸時代この仙台的東照宮で行なわれていた仙台まつりは東北一の規模じゃった。仙台二十四カ町と仙台藩が総出で行い、特に十八カ町が仙台の中心部の街中を山鉾(渡し物)を出し、武者行列やら御神輿やらで最大2、520人で練り歩いておった。最初は明暦元年(1655)、当初は参勤交代で仙台に戻った殿様

が居た時にだけ開催されるんじゃない。このお祭りは伊達藩内の今でも続く多くのお祭りの原点ともなった。時を経て様々に変化を遂げながら幕末ご一新後は戦没者慰霊と言う事と軍都仙台と言う当時の色合いが含まれた招魂祭として続けられ明治三十二年(1899)仙台開府300年祭を最後に一度お休みをしたんじゃない。東照宮が出来た当初、皆の通う東六小学校の大きなエドヒガンザクラの前に神輿を安置した旅宮があったし、仙台まつりが盛大に開催された時はその場所でお旅所を設けてお旅所祭をしてから南へ真つすぐ進んで清水小路、田町、通町、大町十文字、芭蕉の辻、大町、元柳町、立町、通町、国分町、二日町、侍小路(一番町)を経て約7時間程を要して街中を練り歩き東照宮に戻った。まあ、あまりにもお祭りとしての規模が大きくて山鉾(渡し物)も巨大で高く、市中に電線が張り巡らされるとか、大きな責任を持つていた仙台藩が廃藩置県で無くなってしまうとか、仙台藩から様々な権益を渡されて商売に密着していた二十四カ町の形態の変化と言う時を経て仙台まつりが出来なくなってしまうんだ。戦争をはさんでその後伊達政宗公没後350年

(1985)

を記念して出発場所を東照宮から伊達政宗公をまつった青葉神社にかえて当時東照宮から出発した仙台まつりを大いに参考として武者行列に雀躍りと山鉾巡行をそっくり取り入れて今の青葉まつりになったんじゃない。



すー！ お宮町って本当になにげやかだったんですね。



そう、ご一新後明治の中頃からお宮町では商店街が大いに栄えておった。例え言うなら今の一番町よりも人が多かったと言う記録も残っておる。そこで七夕祭りも盛んでのう、近郷近在から多くのお客が集まり新常盤町界限ではこの時期大門を開いて子ども達も実に多く集まって盛大に七夕祭りを祝ったそうじゃ。そうそう、この界限には当時仙台でたった3台しか無かった電話所(今で言う公衆電話)が設置されたと言うからその賑わいぶりがうかがわれる。

東六小の桜のまつりの今あると言う意味や東照宮のお祭り



の原点が江戸時代の初めにあったんじゃない。だから今も続いておるし、また明治から昭和の中頃までのお宮町の活況や盛況から来る隆盛が今の七夕様に残っておる、と言う事じゃな。



仙台に公衆電話が3台しか無かったなんて信じられません！ましてそのうちの1台がお宮町にあったなんて歴史って面白いですね。浄圓房さんありがとうございます。また知らない事をお聞きますね！

文/千葉富士男
挿絵/がんじー

青葉区宮町付近の公共施設



公共施設の場所

【幼稚園・保育所】

- ① 庄司昭学園
022・2222・9354
- ② 仙台すてやか保育園ほんご
022・263・3696
- ③ キッズガーデン・グランママ
022・267・5070
- ④ 東六番丁小学校
022・222・4216
- ⑤ 北六番丁小学校
022・222・5086

【中学校】

- ⑥ 五城中学校
022・234・0451

【高等学校】

- ⑦ 常盤木学園高等学校
022・263・1755

【郵便局】

- ⑧ 仙台宮町郵便局
022・227・2932

【銀行】

- ⑨ 七十七銀行宮町支店
022・225・8331

【小学校】

- ⑩ 仙台銀行宮町支店
022・234・2241

- ⑪ 杜の都信用金庫宮町支店
022・222・9029

【交番】

- ⑫ 仙台北警察署宮町交番
022・223・2745

【市民センター】

- ⑬ 福沢市民センター
022・223・9095

【コミュニティセンター】

- ⑭ 東六コミュニティセンター
022・263・5311

公共施設の詳細情報は仙台市のホームページに記載してあります。

【第60回東六万燈会夏まつり】

日時 8月20日(土) 16時〜20時

雨天の場合は21日(日)

場所 東六番丁小学校 校庭

皆様にご覧いただき、この地域の歴史と伝統に更なる輝きを加えることになりました。これも地域の皆様のご支援ご協力と郷土愛の賜物と深く感謝申し上げます。

今回は東日本大震災の事もあり、震災犠牲者等の慰霊、人々の和と活力の醸成、復興の決意等の場ともしたいと考え例年以上に充実したプログラムとした他、子どもさんも楽しめる出店もたくさん用意しましたので、是非ご家族お揃いでご来場の上、ゆらゆら揺れる万燈の下、過ぎ行く夏の一夜をお楽しみいただきたいと思います。

私もはこの催しを通して地域住民の連体が大きな輪となり、活き活きとした住み良いまちづくりと共に、子ども達の楽しい思い出づくりと情操育成が図られることを心から念願しております。

(東六地区連合宮町内会 会長 海老一朗)



三年前の万燈祭の様子 (提供: 万燈祭実行委員会)

募集掲示板！

消防団員を募集

連絡先：青葉消防署 警防課 管理係
022-234-1121

消防団は、「自分たちのまちは、自分たちで守る」という精神に基づいた郷土愛あふれる地域の消防活動を担う組織です。火災が発生した場合の消火活動はもとより、地震、風水害等の大規模災害時には、地域密着性、要員動員力、即時対応力を発揮して救助や避難誘導などの活動を展開し、地域の安全を確保しています。

普段は、それぞれの職業で活躍している人たちが、地域で災害が発生すると、消防団員として災害活動にあたる重要な役割を担っています。

交通指導員を募集

連絡先：青葉区役所 区民生活課 生活安全係
022-225-7211 (内線 6144)

仙台市では、交通秩序の保持と交通事故防止のため、交通指導隊を組織しています。交通指導隊員は、自分の仕事を持ちながら、通学路での街頭指導やイベント時の歩行者の交通誘導など、身近な地域の交通安全活動を行っています。

現在、仙台市には約670名の交通指導隊員がいますが、年々隊員が不足しており、小松島地区、上杉地区、仙台駅前地区において交通指導隊員として地域の交通事故防止に取り組んでいただける方を募集しています。

標語の募集～五城学区地域連携教育推進協議会からのお知らせ～

当協議会は、地域の児童・生徒が心豊かで、心身ともにたくましく成長できるように、地域・家庭・学校の密接な連携を図ることを目的に活動しています。活動の一環として、例年、地域の方々からも標語を募集しています。今年度は「安全・安心、防犯、交通安全」と「手を携えて乗り越える震災」をテーマに募集します。たくさんの皆様の応募をお待ちしています。

応募方法 A5サイズ(21cm×14.8cm)の用紙に作品1点(縦書き)／住所／氏名／電話番号を明記の上下記の宛先まで郵送、または直接受け渡し

締切 平成23年7月21日午後3時
郵送先 東六番丁小学校の高田(地域連携担当)宛
手渡先 北六番丁小学校教務主任、または五城中学校教務主任



【お宮町グラフィティ】

本誌5ページの質問の中にある、教材となったお宮町の商店の歴史を形どった様な手拭いについてお聞きしました。お宮町商店組合振興会が企画作成したもので、現在のお宮町を形成している各商店の創業年や年中行事のお祭りなどをちりばめたもので、各学校に配り、5・6年生の歴史や社会の教材に役立ててくれればとの願いがこもっている。その制作にあたり

この町の歴史を調べたりして描いてくれたのが東六小学校のお向かいにお店を構える似顔絵師がんじーさん。東六小のエドヒガンザクラや東照宮、七夕祭りなど今質問にあった内容はこの手拭いに描かれたもの。本当に良く詳しく描かれていて大人が見ても懐かしかったり、歴史の勉強にもなる。この手拭い、今後、宮町商店組合振興組合の会員店舗で販売を予定しているとの事です。

【東六地区五団体紹介】

- 1 東六地区連合町内会
 - 2 東六地区社会福祉協議会
 - 3 東六地区体育振興会
 - 4 東六地区コミュニティセンター
 - 5 東六赤十字奉仕団
- 東六地区では、以上の五団体が地域のために活動しています。

◇東六地区五団体紹介◇

運営委員会が東六地区コミュニティセンターの施設管理運営を行っています。東六地区諸団体や公共機関、町内会及び子供会は優先的に施設利用できます。

◇東六地区体育振興会

地域住民の健康増進をはかり、毎月第2・第4土曜日東六小学校庭に於いて、13時から「グランドゴルフ」を行っています。

10月2日(日)第40回

東六学区民大運動会を開催します。町内会、子供会が一丸となった活動です。

詳しくは事務局(263-5311)13時～15時まで問い合わせください。

※東六地区社会福祉協議会より車椅子が一台、各町内会へ贈与されています。詳しくは各町内会に問い合わせください。

学校行事予定 (2011年7月～9月)

*なお、6月上旬での予定のため、変更になる可能性もあります。ご了承下さい

◇東六番丁小学校

7月11日(月)	7:50～08:20	あいさつと登校時のごみ拾い運動 東六番丁小学校門
7月30日(土)	15:00～11:30	万日堂に泊まるう会 清浄 光院万日堂
8月20日(土)	13:00～20:00	第60回東六万燈会夏まつり 東六番丁小学校庭
8月27日(土)	13:00～13:30 15:00～15:30	スクールバンド演奏会 仙台駅エスパルススクエア
9月15日(木)	9:00～14:30	第2・4地区陸上記録会 宮城野陸上競技場
9月21日(水)	8:45～13:30	東六の日(一日自由参観日) 東六番丁小学校教室

◇五城中学校

7月8日(金)	10:00～14:30	校内合唱コンクール 五城中学校体育館(学区民鑑賞可能)
9月3日(土)	8:45～14:30	文化祭発表会 五城中学校体育館/各教室(学区民見学可能)

◇北六番丁小学校

7月2日(土)	8:30～12:10	フリー授業参観 北六番丁小学校教室
7月5日(火) ～6日(水)		5年課外活動(6日まで) 泉岳少年自然の家
7月15日(金)	9:45～11:25	手作り遊び大会 東六番丁小学校教室
9月15日(木)		地区陸上記録会 仙台市陸上競技場
9月25日(日)	8:30～	北六小学校区民運動会 北六小学校校庭

◇常盤木学園高校

7月31日(日)	9:00～	第1回オープンスクール 対象:中学生・保護者のみなさま
8月18日(木) ・19日(金)	9:00～	ジュニア・ミュージシャン・クリニック 対象:楽器を演奏している中学生のみなさま
9月3日(土)	10:00～	学園祭一般公開日
9月9日(金)	18:30～	音楽科演奏会 電力ホール

SPECIAL THANKS ご協賛へ感謝を込めて

アエル株式会社様

仙台市青葉区中央1丁目3-1
TEL:022-723-8000

積水ハウス(株)仙台支店様

宮城県仙台市青葉区一番町4丁目6-1
仙台第一生命タワービルディング5F
TEL:022-722-3640



この情報誌は、地域の情報発信と共有を通じ、地域活性化につなげることを目的としたフリーペーパーです。この趣旨に賛同いただき、より多くの企業や団体、個人の皆様のご協賛を通じて事業を支えてくださいますよう、お願い申し上げます。

編集後記

今回は「御宮町なるほどツアー」企画の事前調査のため編集部で行ったものですが、取材を通して感えたものはやはり「絆」でした。折しも三月十一日の被災からの復興を意図した合言葉でしたが、この宮町では別な意味合いで私は「絆」ととらえました。伝統の味を伝承する為の営みのなかで、地域住民の方の関わり合いです。ある方は言われました。この味を守るため私は自分の家で日常的に食し、来客のもてなしに、他家への訪問時に土産として持参して賞味して頂くよう心掛けています。このように支える方が居られて作りて側も「より美味しく」に努力され、今日までその味が伝統として継承されてきたものと感じました。これを私は深く「絆」と感じました。これは正しく宮町の持つポテンシャルだ。(永田良治)

震災後の編集会議で出席者全員が「それぞれの震災」と題する1分間スピーチを行いました。東六番丁小学校や東六コミュニティセンターにおいて1,500人以上の避難民を地域の方々が協力しながら受け入れたとの海老連合町内会長の話が印象的でした。今後も住民パワーを発揮する場面があると思います。「038プレス」が住民パワーアップに役立つようになればいいな。(加藤久枝)

いよいよ創刊号が発刊となりました。038プレスはこの街を支え榮えさせようと私たち地域住民の有志の集まりが、研修等を通して取材編集能力の向上を図りながら楽しく創っています。この活動は行政や商店街など地域全体を巻き込みながら地域発展のため頑張つて参ります。尚、編集部員を随時募集しております。お気軽にお問い合わせ下さいませ。(千葉富士男)

編集局からのお願い

お宮町の昔の写真や逸話など、この町の情報を募集いたしております。情報をお持ちの方、取材の要望などがございましたら、右の宛先までご連絡ください。

編集メンバー

主筆/海老一朗 編集長/千葉富士男
編集委員/阿部卓弥、五十嵐真之介、加藤久枝、鹿野恵美子、加納美保、加納実、菅野成寛、菊池ゆう子、木村くみ、佐藤正則、佐藤靖、永田良治、南部正人、花坂政裕、針生一平、針生英一、針生奏子、藤本保之、松本匠充、三岡昭博、吉田まとも(50音順)
歴史顧問/伊勢民夫 アドバイザー/内海睦夫 イラスト/がんじー
協力/東北工業大学 ライフデザイン学部

お！宮町地域情報編集局

Tel:022-225-7211(代) Emai:ohmiyamachi@gmail.com
〒980-8701
仙台市青葉区上杉1-5-1 青葉区まちづくり推進課内